

# プレミア Premium 通信

2022年3月期 (2021年4月1日～2022年3月31日)

プレミアグループ株式会社

証券コード：7199



## 自動車流通業界の「ゲームチェンジャー」を目指し、 中期経営計画達成に向けて躍進してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2022年3月期の日本国内は、新型コロナウイルス感染症の影響が依然として継続していましたが、ワクチン接種の進展で徐々に経済活動が再開されました。当社でも、感染防止対策を講じながら営業活動を再開させ、Back to normalを目指したWithコロナ体制の事業活動を進めてまいりました。期中は、半導体不足による新車供給の停滞に伴い中古車価格が高騰し、先行きが不透明な状況でしたが、主要3事業の伸長・グループ間シナジーの発揮・



代表取締役社長

柴田 洋一

DX化によるコスト削減効果等により、堅実に将来収益を確保することができ、税引前利益については上方修正を行うことができました。

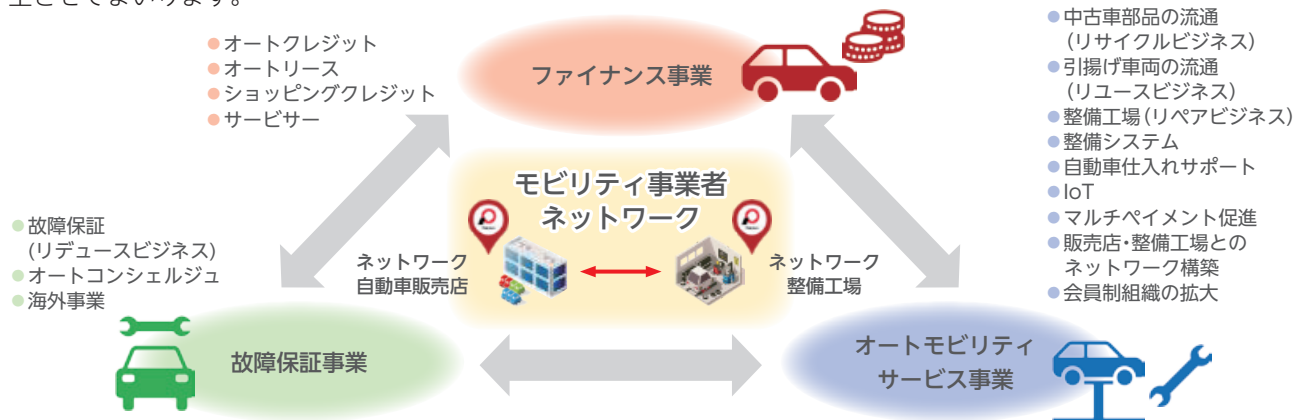
引き続き、業容拡大のステージにある当社は、今期より新たな中核子会社となるカープレミア株式会社の稼働を開始いたしました。カープレミア株式会社は、モビリティ事業者向け会員組織の開拓・推進を担い、中期経営計画にて掲げているモビリティ事業者のネットワーク構築に注力する新会社であります。これにより、会員の満足度の向上や、より強固な信頼関係の構築を図り、当社の展開する各サービスの利用向上や各事業間シナジーの創造を目指します。そして、自動車流通業界の中小企業に対して、様々な形で経営サポートを行う「ゲームチェンジャー」として、業界に旋風を巻き起こしていきます。

最後に、2022年4月に実施された東京証券取引所の市場再編にて、当社はプライム市場へ移行いたしました。今後も株主の皆様へに支持されるよう努力を続けていくとともに、環境問題や地域社会への貢献、ガバナンスの強化にも積極的に取り組み、グループ全体の持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますよう、宜しく願いいたします。

## プレミアムなファイナンスとサービスを世界中に

プレミアムグループは主力事業である「ファイナンス事業」「故障保証事業」「オートモビリティサービス事業」の展開と並行して、モビリティ事業者の**会員制組織「カープレミアクラブ」**の拡大と、事業間シナジーの創出により、企業価値を向上させてまいります。



## 各事業の概況

### ファイナンス事業

中古車マーケットは厳しい環境となりましたが、契約書のペーパーレス化による営業活動の効率化や、会員制組織「カープレミアクラブ」の拡大を図った結果、クレジット取扱高は前年及び前々年を上回る実績となりました。また、営業体制の強化及び業務のDX化による延滞債権回収の効率化並びにグループ間シナジーが奏功し、延滞債権残高率は、0.78%と低水準を維持しております。

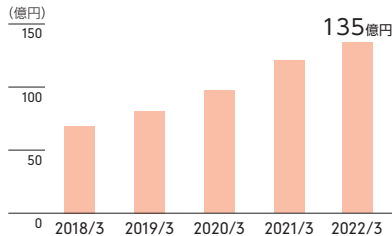
### 故障保証事業

厳しい中古車市場環境下により、提携商品の取扱高の伸びが鈍化しましたが、自社商品の販売促進及び提携商品に特化した営業人員の配置並びに体制強化を図った結果、前年及び前々年を上回る実績となりました。また、修理車両を当社の整備工場ネットワークへ入庫誘導し、当社のグループ内で調達した中古部品を修理に利用することで原価削減を図っております。

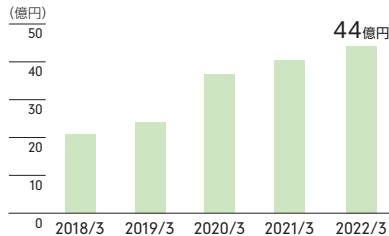
### オートモビリティサービス事業

2021年3月期から本格始動し、自動車販売店や整備工場への自動車部品販売・ソフトウェア販売・当社グループで引き揚げた車両の卸売販売等のサービスを展開しております。部品販売や車両卸売の伸長、クレジット加盟店社数・整備ネットワーク社数・会員制組織の拡大に伴うサービスの取扱いが増加いたしました。

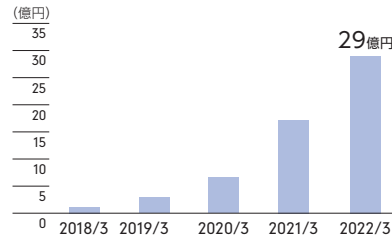
### 営業収益



### 営業収益



### 営業収益



新型コロナウイルス感染症の拡大や世界的な半導体不足による中古車マーケットの伸び悩みがありながらも、各事業でのシェア拡大及びDX化による原価削減が図れ、期中に上方修正を行い「増収増益増配」となりました。

## 営業収益

20,827百万円

【2022年3月期】

(前年同期比 116.8%)

17,825百万円  
【2021年3月期】

## 税引前利益

4,017百万円

【2022年3月期】

(前年同期比 116.0%)

3,463百万円  
【2021年3月期】親会社の所有者に  
帰属する当期利益

2,941百万円

【2022年3月期】

(前年同期比 123.4%)

2,383百万円  
【2021年3月期】

## 年間配当金

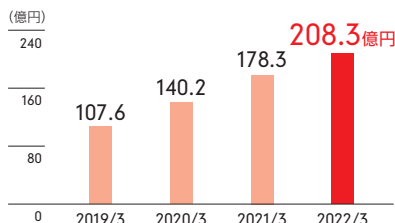
51円

【2022年3月期】

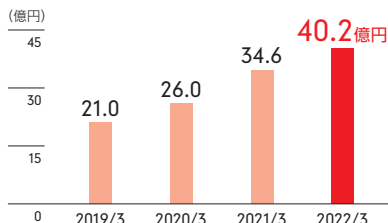
(前年同期比 110.9%)

46円  
【2021年3月期】

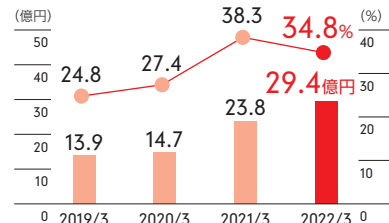
## 営業収益



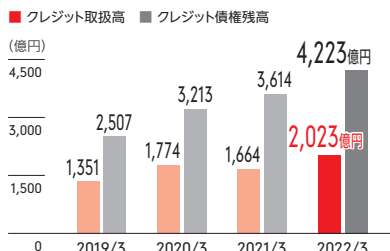
## 税引前利益



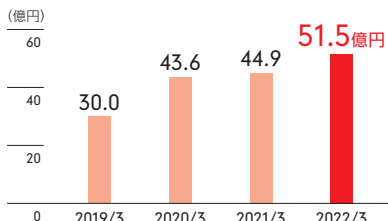
## 親会社の所有者に帰属する当期利益/ROE



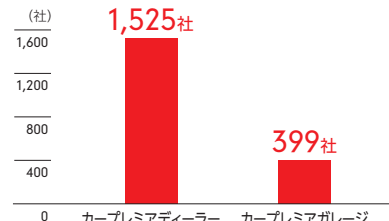
## クレジット取扱高／クレジット債権残高



## 故障保証取扱高



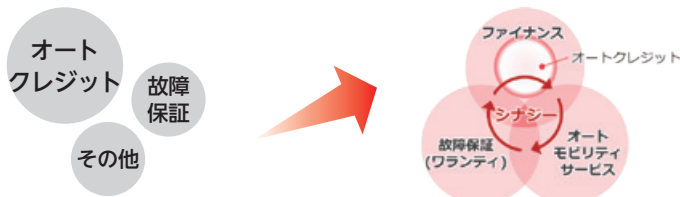
## カープレミアクラブ会員社数 (2022/3)



※2021年3月期の取扱高の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響により1Qに訪問営業の自粛を行ったこと及び債権内容の「量」より「質」を重視して利益率の維持・向上を図った戦略の影響です。

※2018年10月15日に行われた株式会社ソフトプランナーとの企業結合について、2019年3月期において暫定的な会計処理を行っておりましたが、2020年3月期に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、2019年3月期の営業収益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、ROEについて、確定内容を反映させております。

「オートクレジット企業」から「オートモビリティ企業」へ



Go!  
中期経営計画についての  
詳細はこちら



<https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/plan.html>

事業環境の変化に伴い、既存事業の伸長に加え、直接の顧客である自動車販売店・自動車整備工場の経営支援を通じて、自動車市場の活性化を目指してまいります。

(中期ビジョン)

- ①強みであるファイナンス事業を増強
- ②故障保証の市場拡大
- ③オートモビリティサービス事業の拡充
- ④自動車市場、整備市場のプラットフォームを目指す

営業収益

**419**億円

【2025年3月期】(予想)

税引前利益

**100**億円

【2025年3月期】(予想)

ROE

**37.0%**

【2025年3月期】(予想)

時価総額

**1,750**億円~**2,000**億円

【2025年3月期】(予想)

各事業の重点施策と戦略

重点施策

戦略

ファイナンス  
事業

- ・トップラインの成長率向上及び業務効率化
- ・グループシナジーの強化及び収益機会の創出

- ・会員制サービス「**カープレミアディーラー**」の会員募集を促進(2022年3月末時点:1,525社)
- ・AI審査、ペーパーレス化・オートコールシステムの活用

故障保障事業

- ・第三者保証の市場拡大
- ・原価削減

- ・営業人員の増加で既存商品の**販売力強化**
- ・**原価削減**に向け、整備ネットワークへの入庫・自社での中古部品調達を推進

オートモビリティ  
サービス事業

- ・サービスラインナップの拡充
- ・プラットフォーム構想の推進

- ・会員制サービス「**カープレミアガレージ**」の会員募集を促進(2022年3月末時点:399社)
- ・会員向けコンテンツの拡充により会員組織化を推進



全国のモビリティ事業者向け会員組織の開拓・推進を担う中核子会社として、カープレミア株式会社を新たに設立いたしました。「カープレミアクラブ」会員に特化した営業組織や企画運営を行う体制を築き、モビリティ事業者の経営サポートサービスを提供いたします。



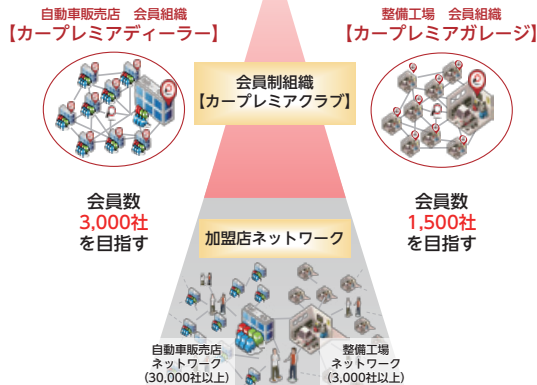
⇒当組織のキラーコンテンツは、当社のエンドユーザー向けオンラインサイトへ会員加盟店の在庫を掲載、顧客を送客し、強みであるファイナンス・故障保証のサービス提供からプレミアブランドによる安心・安全をキーワードに自動車を選定、ご購入いただけるようサービスの品質向上に注力しております。組織形成から約1年半で会員数は、1,500社を突破し、今後も会員加盟店の満足度向上へ魅力的なサービス展開を行ってまいります。

カープレミア株式会社 カープレミアディーラー営業部長 齊藤邦雄

⇒整備工場向け会員組織のキラーコンテンツは、「故障修理の優先入庫」「集客支援」「車検・点検時に加入できる保証サービス」の3つであります。保証修理の入庫や当社サイトを通して送客したお客様に対して、当社の主力サービスを利用することで、新規顧客やリピーターの獲得が可能です。整備工場1社1社の満足度向上を図り、より強固な信頼関係を構築し、会員様と共に経営の安定化を目指してまいります。



カープレミア株式会社 カープレミアガレージ営業部長 村田尚俊



## プレミアグループのDX推進

**DX化で実現する3つのポイント**

- ・業務イノベーションで生産性と従業員の幸福度を向上
- ・エンドユーザーの利便性、オートモビリティ事業者の経営効率を向上
- ・次世代オートモビリティサービスに対応する新規事業の創出

### ● コアビジネス戦略

#### コアビジネス戦略

- 事業DX**
- モビリティ事業者の経営効率を高め、エンドユーザーに「安心・便利」を届ける
    - ・当社認定の自動車販売店・整備工場(以下[B])とエンドユーザー(以下、総称して[C])をプラットフォーム上でマッチングさせ、取引機会の拡大を目指す
    - ・在庫管理などの日常業務もプラットフォーム上で行えるよう仕組みを構築
    - ・来店からアフターフォローまでB to B to C間の取引をオンラインで完結させる仕組みを構築
    - ・購入後、故障が発生した際に、Cをプラットフォームに誘導し、適切なサービスや入庫先の整備工場などをコンシェルジュサービスのように提案できる仕組みを構築
  - CASE・MaaS・電動自動車化への対応
    - ・自動車業界の変革に対応できる次世代プラットフォームの構築を目指す
- 社内DX**
- 従業員の幸福度(Well-being)を高める
    - ・主体性を持った働き方をアシスト
    - ・デジタル化により業務効率化・自動化、WFA(Work From Anywhere)を推進
    - ・人間と技術の相互補完で高品質・高次元なサービスを提供する体制を整える

### ● タイムライン・DX進捗

#### DX戦略 タイムライン

来期は事業DXのローンチを予定、社内DX各開発は順調に進捗

	2022.3				2023.3				2024.3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
事業DX	【エンドユーザー向け】 クルマのこころなプレミア				プラットフォームとして統合				CASE・MaaS・ 電動自動車への対応			
社内DX	【B to B (プレミア) to C】 コミュニケーションシステム											
	【モビリティ事業者向け】 加盟店ポータル P-Gate											
	ファイナンス事業 業務システム				オートモビリティサービス事業 業務システム							
	故障保証事業 業務システム				グループ全体 業務システム							
					グループ全体インフラ整備 DaaS・ゼロトラスト							





～参加予定の個人投資家説明会～

2022年6月19日(日)  
東京勉強会(予定)

2022年9月3日(土)  
神戸投資勉強会(予定)

→日程が近づいてまいりました、詳細を当社IRサイトにてご案内いたしますので、以下よりご確認ください!



**Go!**  
ニュース/個人投資家  
向け説明会の詳細はこちら



<https://ir.premium-group.co.jp/ja/news.html>

**Go!**  
クルマとお金のことなら  
カープレミアのサイトはこちら



<https://kuruma-money.com/>

会社概要 (2022年3月31日現在)

会社名	プレミアグループ株式会社
英文社名	Premium Group Co., Ltd.
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー19階
創業	2007年7月
資本金	1,668百万円
従業員数	644名(連結)

役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長	柴田 洋一	社外取締役	中川 二博	【執行役員体制】			
取締役	金澤 友洋		堀越 友香	代表執行役員	柴田 洋一	執行役員	近藤 久美
取締役	大貫 徹		大嶋 裕美	常務執行役員	金澤 友洋		池田 泰平
		常勤監査役	亀津 敏宏		大貫 徹		
		社外監査役	樋口 節夫	上席執行役員	山村 広臣		
			森脇 敏和		中村 文哉		

株主メモ

証券コード	7199
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**Go!**  
IRのお問い合わせはこちら



URL: <https://ir.premium-group.co.jp/ja/privacy.html>

**Go!**  
適時開示のメール配信サービスはこちら



URL: <https://ir.premium-group.co.jp/ja/individual.html>  
※当ページの下部リンクよりご登録いただけます。

公告方式 電子公告(公告掲載URL: [https://ir.premium-group.co.jp/ja/public\\_notice.html](https://ir.premium-group.co.jp/ja/public_notice.html)) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

※株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。  
株主名簿管理人(三井住友信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。  
※未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株式情報 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	48,000,000株
発行済株式の総数	13,394,990株
株主数	3,941名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,549,700	19.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,902,400	14.79
株式会社リクルート	600,000	4.66
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505303	426,200	3.31
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	323,500	2.51
GOVERNMENT OF NORWAY	294,400	2.29
株式会社あおぞら銀行	258,600	2.01
損害保険ジャパン株式会社	258,600	2.01
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	233,900	1.82
柴田 洋一	230,956	1.80

所有者別株式分布状況

個人・その他	3,634,760株	27.1%
金融機関	5,573,800株	41.6%
金融商品取引業者	281,715株	2.1%
その他の法人	665,308株	5.0%
外国法人等	3,239,407株	24.2%

※自己名義株式の単元株式数は、「個人・その他」の所有者区分に含んでいます。

※自己株式(528,885株)は上記大株主から除外しております。  
※持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
※持株比率は小数点第3位を四捨五入しております。

**Go!**  
プレミアグループのIRサイト



URL: <https://ir.premium-group.co.jp/ja/index.html>

